

<<防災訓練で学ぼう！命を守る地域の備え！！>>

皆さんは地域の防災訓練に参加した事がありますか？

地域防災拠点の総合防災訓練に参加すると、多くの気づきを得る事ができます。

今回は、私たちの地域の避難所（地域防災拠点）についてお届けします。



大地震が来たらここに避難すればいいのかな？
ここに来れば、もう安心なんだよね・・・



いいえ、避難所（地域防災拠点）は
大規模火災が発生して家屋が**焼失**したり、地震で家屋が**倒壊**したなど
主に 自宅避難が困難な方 が避難し生活する所です。

ただし、自宅での生活が難しいと感じたら、迷わず避難所
（地域防災拠点）を活用して下さいね！

私たちの地域の避難所（地域防災拠点）はどんな所なのかな？



黒須田小学校地域防災拠点 の 現状

- ・収容人数： アリーナ（体育館）に約200人収容可能
- ・備蓄食品： 避難者用の最低限の飲料水・食品が約数日分
- ・プライバシー： 仕切りや目隠しなし
- ・健康管理： 感染症り患やストレスからの健康被害のリスクあり
- ・トイレ： 断水時対応トイレあり
- ・冷暖房： なし
- ・寝具： アルミシートの上で毛布を掛ける（ベッドは病人優先）
- ・ペットの避難： 小動物や犬猫はケージに入れて、人間とは隔離

避難所（地域防災拠点）の運営は地域の自治会役員など運営委員のサポートのもと、
避難生活を送っている避難者自身が主体で行うのが基本姿勢です！



大場町には2400世帯（約6300人）の方がいます。自宅避難が可能な人も避難すると避難所の収容人数は（市ヶ尾小学校地域防災拠点と合わせても）不足します。
災害時でも **自宅で避難生活ができるように、備えてください！**

今からできる防災対策

～地域の防災力を高めるため、次の事に取り組みましょう～

- ① 家の安全確認 災害時でも家屋を使用できるように点検・整備を行う
- ② 火災対策 感電ブレーカー・消火器・火災警報器の設置で火災を未然に防ぐ
- ③ 備蓄の準備 3日分の水・食料・トイレパック・カセットコンロ・充電器・衛生用品を備える
- ④ 近隣とのつながりづくり 隣近所で声を掛けあい、助け合える関係を築く
- ⑤ 防災訓練への参加 一度は防災訓練に参加して、避難所（地域防災拠点）の現状を知る

防災訓練は自分の身を守るだけでなく、家族や地域の誰かを助けるための第一歩です。

訓練で得た知識や経験をもとに、いざというときに行動できる自分を目指しましょう！

今までの防災コラムも参考になさってください！！